

R6.7.5 議員定数問題等調査特別委員会

加藤議長	<p>本日は大変お忙しいところお集まりをいただきまして、ありがとうございました。本日は組織の委員会でございますので、私から招集をさせていただきました。</p> <p>次回の県議会議員選挙まであと2年9か月となっております。来年には国勢調査が予定されているわけですが、本県の議員定数や選挙区に関する課題の大きさ等を踏まえ、この時期に委員会を設置することとなりました。</p> <p>皆様方には、人口減少や、都市部と郡部の人口格差、中山間地域の声をいかに県政に届けるようにするかなど、多くの課題に対して、様々な視点を持って議論を行い、今後の議会の方向性を決めていただくこととなります。非常に難しいテーマであろうかと存じますが、活発な議論を尽くしていただき、十分な成果を上げられることを期待を申し上げます。</p> <p>大変御苦勞をおかけすることになると思いますが、どうぞよろしくお願いを申し上げます。簡単でございますが御挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願いをいたします。</p> <p>(担当書記挨拶)</p>
書記	<p>本日は初めての委員会でございますので、委員長が互選されるまでの間、委員会条例第7条第2項の規定に基づきまして、その職務を年長の明神委員さんをお願いいたします。</p>
	<p>1. 委員長の互選について</p>
明神年長委員	<p>それでは、年長である故をもって、私が暫時の間、議事を進めさせていただきます。よろしくお願いをいたします。</p> <p>ただいまから、議員定数問題等調査特別委員会を開きます。</p> <p>お手元の協議事項の順に進めてまいりたいので、御協力をお願いします。</p> <p>直ちに、委員長の互選を行います。</p> <p>互選の方法は、いかがいたしましょうか。</p> <p>(「指名推選で」との発言あり)</p>
明神年長委員	<p>指名推選でという発言がありますが、ほかにございませんか。</p> <p>(なし)</p>
明神年長委員	<p>それでは、互選の方法は指名推選によることといたします。</p> <p>お諮りいたします。</p> <p>指名の方法については、私が指名することにいたしたいと存じますが、御異議ありませんか。</p> <p>(異議なし)</p>
明神年長委員	<p>御異議ないものと認めます。</p> <p>よって、私が指名することといたします。</p> <p>委員長に弘田兼一委員を指名いたします。</p>

R6.7.5 議員定数問題等調査特別委員会

	<p>お諮りいたします。</p> <p>ただいま指名いたしました弘田兼一委員を委員長の当選人と定めることに御異議ありませんか。</p> <p>(異議なし)</p>
明神年長委員	<p>御異議ないものと認めます。</p> <p>よって、ただいま指名いたしました弘田兼一委員が、委員長に当選されました。ただいま委員長に当選されました弘田兼一委員に、本席から告知をいたします。ここで、委員長の就任の御挨拶がございます。</p>
弘田委員長	<p>ただいま御指名をいただきました弘田でございます。この定数の問題の委員会には、私、委員として3回目ということになります。前回は委員長をさせていただいたんですけど、前回は本当にタイトなスケジュールの中で、例えば関係する首長さんの意見なんか聞けなかったというようなことがあって、前回取りまとめるに当たって、審議の期間を長くしようとし送りしようというふうなことで、今回こういった期間設定になっているというふうに思います。私たちの活動に関わる大切な問題でもあるし、それから県民の皆さんにとっても、誰に投票するかとか、そういったことに関わるので、本当に興味がある問題じゃないかというふうに思っております。ぜひ、委員の皆さんの丁寧な協議を経て、結論を導いていきたいというふうに思いますので、ぜひ御協力のほどよろしくお願ひいたします。</p>
明神年長委員	<p>以上で、私の役目である委員長の互選は終わりました。</p> <p>御協力ありがとうございました。</p>
2. 副委員長の互選について	
弘田委員長	<p>これより、副委員長の互選を行います。</p> <p>互選の方法は、いかがいたしましょうか。</p> <p>(「指名推選で」との発言あり)</p>
弘田委員長	<p>指名にせよという発言がありますので、互選の方法は指名推選によることといたします。</p> <p>お諮りいたします。</p> <p>指名の方法については、委員長である私が指名することにいたしたいと存じますが、御異議ありませんか。</p> <p>(異議なし)</p>
弘田委員長	<p>御異議ないものと認めます。</p> <p>よって、私が指名することといたします。</p> <p>副委員長に、西森雅和委員を指名いたします。</p> <p>お諮りいたします。</p> <p>ただいま指名いたしました西森雅和委員を副委員長の当選人と定めることに、御異議ありませんか。</p>

R6.7.5 議員定数問題等調査特別委員会

(異議なし)

弘田委員長

御異議ないものと認めます。
よって、ただいま指名いたしました西森雅和委員が、副委員長に当選されました。ただいま副委員長に当選されました西森雅和委員に、本席から告知をいたします。ここで、副委員長の就任の御挨拶があります。

西森(雅)副委員長

ただいま皆様の御推挙によりまして副委員長の任を拝しました西森雅和でございます。委員長の補佐役として、また皆様の御協力をいただきながら、副委員長の役目を果たしてまいりたいと存じますので、何とぞよろしく願いいたします。ありがとうございました。

3. 委員席の指定について

弘田委員長

次に、委員席を決定いたしたいと存じます。
ただいま御着席されております席を順にお詰めいただき、そのお詰めいただいた席を委員席に指定いたしたいと存じますが、御異議ありませんか。

(異議なし)

弘田委員長

それでは、さよう決めます。

(事務局、名札を置く)

4. 次回の協議について

弘田委員長

次に、次回の協議についてであります。
まず、次回の協議事項につきましては、初めての委員会でありますので、選挙管理委員会から公職選挙法の関係規程等について説明を受けた後、今後の委員会の進め方等について御協議願いたいと存じますが、いかがでしょうか。

(異議なし)

弘田委員長

それでは、さよう決めます。
なお、令和4年2月定例会に提出された議員定数問題等調査特別委員会報告書と特別委員会のスケジュールのイメージをお手元にお配りしてありますので、御参考に願います。
次に、次回の委員会開催日についてであります。
お手元に、7月から9月までの予定表をお配りいたしてありますので、この表を参考にしながら次回の開催日を決めておきたいと存じます。
8月上旬、案として8月6日がありますが、皆さんどうですか。

西森(雅)副委員長

総務委員会がある。

武石委員

私は5日、6日が終日予定があります。

R6.7.5 議員定数問題等調査特別委員会

- 田中委員 7日まで外してほしい。
- 西森(雅)副委員長
弘田委員長 8日か9日で決めましょう、8日で。
8日でよろしいですか。
- (「はい」との発言あり)
- 弘田委員長 次回は、8月8日木曜日10時からということでお願いいたします。
なお、次回以降の委員会の開催場所についてであります。今回は都合により、第1委員会室を開催場所といたしましたが、次回以降の開催場所は第2委員会室といたしますので、御了承願います。
- (了 承)
- 5. 説明者の出席要請について**
- 弘田委員長 次に、説明者の出席要請についてであります。
今後、選挙管理委員会事務局の職員の出席については、必要の都度要請すること
にいたしたいと存じますが、いかがでしょうか。
- (異議なし)
- 弘田委員長 はい。よろしいですね。それでは、さよう決めます。
- 6. その他**
- 弘田委員長 最後に、その他で何かございませんか。
- 塚地委員 すみません。次回の8月8日の定数特別委員会に、選挙管理委員会からの御説明
を受けた後、今後の進め方というのを協議するということをおっしゃったんですけ
ど、どこぐらいまで具体的に案を持ってきたらいいのか、進め方の問題っていう範
疇はどういうふうに考えたらいいかをちょっと教えてもらいたい。例えば、審議項
目みたいなものも挙げてくるのか。参考人の意見としてこういう人たちの意見を聞
いてもらいたいですという提案とか、そういう具体的な問題、課題までここに持っ
てくるっていうことなのか。
- 弘田委員長 今回は、結構時間もありますので、最初にきちんと選挙管理委員会からこういう
状況であるとの話を聞いて、それから、これ事務局のほうになるんですかね、現在
の人口動態の現状、これは動態でしか分からんのやけど、それで想定はできるんで、
そこら辺も受けた上で話を進めていければというふうに思います。ですから、次回
は説明を受けてですね、その次の開催の時期を決めると。次回までに各党派でど
ういうことを協議したいかということをお話してもよろしいら、それで話を前へ進めてい
けると思うんですが。
- 塚地委員 ちょっと今のお話で、人口動態の問題とか、今回委員会を立てるに当たって、検
討できる3つのお話、今の1票の格差の問題とか、逆転している問題とかっていう

R6.7.5 議員定数問題等調査特別委員会

3つ整理されていた課題があったと思うんですけど、そういう課題として挙げられたものの、実際高知県内でどういう状況かというところを取りあえずじっくり説明を受けると、次はですね。そこから先どういうことにするかというところを決めることの、確定版みたいにその日はしないっていう確認でよろしいですか。

弘田委員長 あまり早くから確定すると、次、進め方が、逆に何といたしますか、厳しくなるというか、自由な討論ができなくなるので、そこら辺もちょっと意見をいろいろ聞かせていただきたいなというふうに思っています。

塚地委員 はい、分かりました。

弘田委員長 次回、間に合うかね。人口動態で、ちょっと事務局に発言させます。

書記 今の想定の人口の部分での表は既に作成しておりますので、それを基にして、最初のほうは御議論願えたらと思います。

弘田委員長 既にできているということですから、事前に渡すということではできんかね。

書記 はい、それは。

弘田委員長 そしたら事前にお渡ししますので、それぞれの会派で、こうである、ああであるということ協議してもらって、次からこんなふうにしましょうというふうな案を持ってきていただいたらということでもよろしいでしょうか。

西森(雅)副委員長 進め方も含めて、どういうふうにしていくのか、まずは現状を、その資料も含めてまた説明も受けて、その後それを踏まえてどう進めていったらいいのかと次の委員会で諮っていったらと。スケジュール的なことなんかも、全く今の段階で分かっていないですからね、我々は。

弘田委員長 スケジュールで言えば、告示というか、それが決まってるんで、そこまでには結論を出さないとはいけませんので。日が決まっていて、あと中身をどうやって詰めていくかというところですから、そこを大体どのようなスケジュール、一月に1回でやるかとかですね、そんな感じも、アバウトなところで決めていけたらいいんじゃないかなというふうに思います。

それから、そのほかに何かありませんか。

(な し)

弘田委員長 ないようですので、協議事項は以上であります。
これで、本日の議員定数問題等調査特別委員会を終わります。